

サービス推進室では、医療安全に関する情報を収集し、看護現場で役立つポイント等を付加して提供しています。それぞれの現場に応じた点検ツールとしてお役立てください。

No.1

業務と無関係の電子カルテ閲覧事例が発生しました。

大学病院で多数の医療関係者が、業務と関係がない搬送された殺人事件被害者の電子カルテを閲覧していた問題が発生しました。同病院は記者会見し「興味本位の閲覧があった。深くおわびする」と謝罪しました。今後、遺族にも直接謝罪する方針です。市内の住宅で高齢女性ら2人が襲われ、うち1人の搬送先だった同病院では事件当日から数日後にアクセスしました。同病院は不適切な閲覧があると指摘され、約1000人の看護師ら約1000人がアクセスできるとして、深刻な事態であることが分かりました。

アクセスすることで医療の質や安全の確保に支障がある。

再発防止

継続的な注意喚起と、個人情報保護に関する研修などで職員の意識を高めることが重要です。注意喚起の方法としては次のような方法があります。

- 日常からログ管理を実施し、ログ管理が行われていることを周知する
- ログ管理によるモニター結果（アクセス履歴）をフィードバックする

《参考》 病院職員による不適切なカルテ閲覧に関するお詫び